

完成した 水俣市立病院附属湯之児病院

リハビリテーション・センター

不自由者夢の殿堂

七日、盛大に開院式

温泉を利用した九州で初めてのリハビリテーション・センター、水俣市立病院附属「湯之児病院」は、竣工費一億五千万円で昨年二月から工事を急いでいたが、このほど竣工し、七日午前十一時から市立体育館に熊本、鹿児島両県下から約千人の来賓、関係者を招いて開院式を行なう。全国で初めてといわれる療育施設を備えたセラクスな諸施設を紹介しよう。

全国に誇る療育施設

同病院は水俣病患者を更生・社会復帰させるための治療と訓練が目的、鉄筋コンクリート四階建て（一部五階）延べ五千平方メートルと規模にわたっている。本館

特別個室から二人、六人、十四人、二十人用のへやまで、四十一室。二百ベッドがある。ほとんどが洋室だが、小児室は一部畳敷きで付属の遊戯室もついている。各階とも中央付近に食堂、面会室、ナース・ステーションがある。五階は和室の特殊訓練室と屋上訓練場になっている。

な特別個室から二人、六人、十四人、二十人用のへやまで、四十一室。二百ベッドがある。ほとんどが洋室だが、小児室は一部畳敷きで付属の遊戯室もついている。各階とも中央付近に食堂、面会室、ナース・ステーションがある。五階は和室の特殊訓練室と屋上訓練場になっている。

にはいろいろなリハビリテーション施設がある。まず二階には全国で初めての「塩水プール」と作業療法室がある。塩水プールは長さ十六メートル、幅十メートル、中央でおとなども用に分けられ、おとな用は深さ一・二メートル、子ども用は〇・八メートル。天井からロープもチェーンがたれさがっており、患者たちはこのロープにつかまって泳ぐ。淡水よりも浮力が強いので、大気の中では動きにくいマヒした手足も少ない抵抗で動く。動かすことによって手足の機能を回復させるのがねらい。二階には機能回復室、運動室、男女の大浴場がある。機能回復室には肩ハシゴ、ろくほく、体乗車、車イス、固定自転車、肩回遊器、平行棒など各種の訓練用具が備えられている。運動室にはこれも全国で初めての水中治療プールを備えた運動室とハーバータンクがある。ハーバータンクは全身マヒの患者が寝たまま温泉にひたし、手足を動かす訓練を行なう。このほか九大温研の矢野教授の助言によってつくった「泥浴施設」もある。

この両棟を訓練用のスロープでつないでいる。このスロープは長さ三十三・七三メートル、幅四・六四メートルの二のうちはいになっており、両側には患者がつかまるようテラスがついている。階上にあるのに患者たちは階段やエレベーターを使わず、スロープを登り下ることによって歩行訓練を行なわせる。

市内の水俣病患者は六十六人、うち三十三人が市立病院の水俣病棟に入院、残りは自宅療養を続けている。二百ベッドのうち、三十ベッドは同病棟患者のために確保されるが、残ったベッドは一般患者を収容することになっており、小児マヒ、中風など神経症状による

手足の不自由なものを取替える。敷地は背後に緑の山を抱え、はるか天草の島々を望み、不知火の波が打ち寄せる風光明媚の地。付近には国民宿舎「水天荘」も近く着工される予定で、健康福祉都市を自給す水俣のヘルス地区になる。

塩水プールや機能回復室

機能回復室の諸施設
理療棟が同病院の特色で、こ

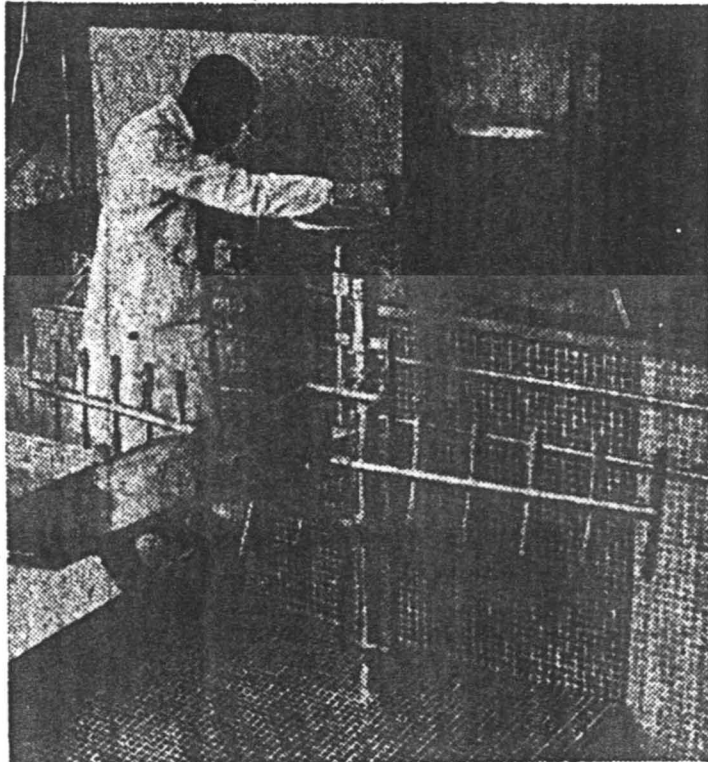
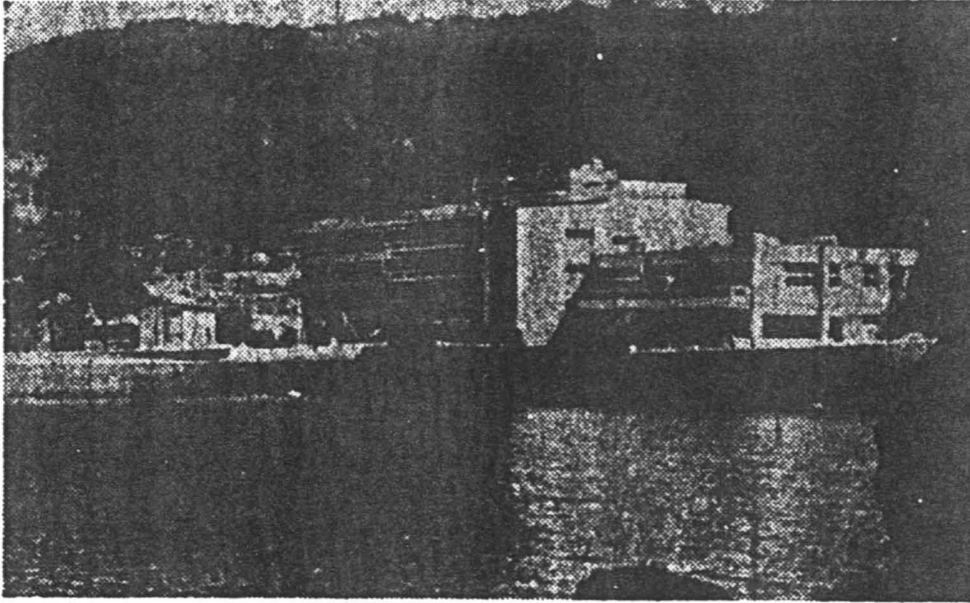
運動浴室 日本に一つしかない水中治療テーブル。浴そうは階段式になっており、テーブルにからだを乗せて胸の屈伸運動をする

ハーバータンク 全身不随の患者を籠下式のタンクに入れ温泉に浸し、タンクの中で手足を動かす

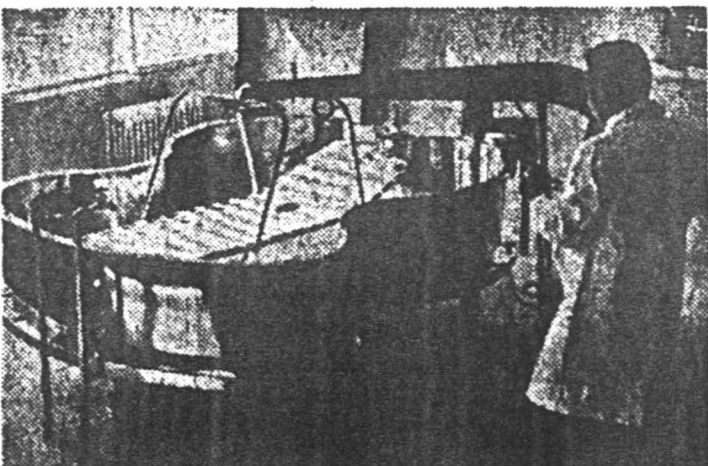
塩水プール 幅10米、長さ16米の特殊な塩水プール。天井からつり輪を使ってプールでからだを動かす

機能回復訓練室 固定自転車、車イス、平行棒、パーベルなど手足、上半身、下半身とあらゆる訓練機械を使って機能をよみがえらせる

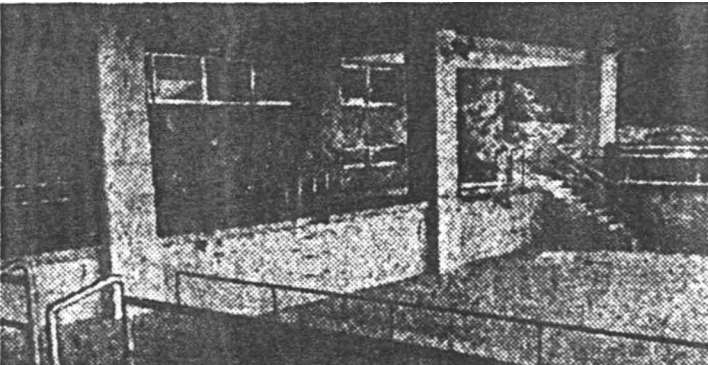
威容・風光明媚な湯の児海岸に二億五千万円を投じて完成した鉄筋コンクリート四階建てのリハビリテーション・センター



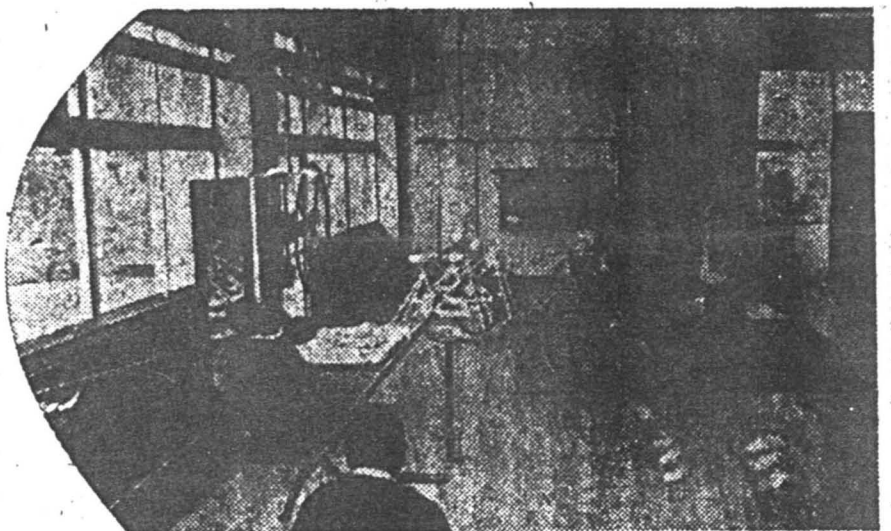
運動浴室 日本に一つしかない水中治療テーブル。浴そうは階段式になっており、テーブルにからだを乗せて胸の屈伸運動をする



ハーバータンク 全身不随の患者を籠下式のタンクに入れ温泉に浸し、タンクの中で手足を動かす



塩水プール 幅10米、長さ16米の特殊な塩水プール。天井からつり輪を使ってプールでからだを動かす



機能回復訓練室 固定自転車、車イス、平行棒、パーベルなど手足、上半身、下半身とあらゆる訓練機械を使って機能をよみがえらせる